

ぼく わたし 虫歯ゼロ

3月1日の幼児歯科健診で虫歯ゼロのお友だちです。



上澤 希愛ちゃん (6歳・吉ヶ沢)



谷山 元希くん (3歳・野中)



神田 彩来ちゃん (3歳・小田)



大平 日葵ちゃん (3歳・新町)



外久保 汰海ちゃん (3歳・垂柳)

忘れずに受診しましょう 令和5年度生活習慣病予防健診・がん検診

4月11日(火)から5月2日(火)まで、令和5年度生活習慣病予防健診・がん検診を行います。健診会場、受付時間など詳しくは全戸配布のチラシやくずまきテレビでご確認ください。

▶くずま〜(役場)が新たに健診会場になります

昨年度まで健診会場となっていた旧保健センターは、今年度からくずま〜に変わります。

▶時間に余裕をもってお越しください

胃がん検診など一部の健診は待ち時間が長くなることがあります。時間に余裕をもってお越しください。



▶検診時のマスクの着用について

健診会場では多数の来場者が見込まれることから、マスクの着用をお勧めします。

☎健康福祉課 ☎65-8991

ご利用ください 健康づくりと病気療養の支援

町では、町民の健康づくりや病気療養を支援するため次の事業を実施します。詳しくはお問い合わせください。

【スポーツ習慣化促進事業】

生活習慣の改善を行い、健康寿命の延伸を推進する取り組みとして、指定するスポーツ活動を行った人に商品券を交付します。



▶対象者の主な要件

町内に住所を有し、居住する18歳以上の人（高校生除く）

▶対象となるスポーツ

ウォーキング、ランニング、サイクリング

▶交付額

最大2万円（くずまき商品券）

※スマートフォンアプリや万歩計で距離や歩数を計測します。

【がん患者医療用補正具購入事業費補助金】

がん患者の社会参加や療養生活を支援するため、医療用ウィッグと乳房補正具の購入費用の一部を助成します。

▶対象者の主な要件

町内に住所を有し、がんの治療による頭髪の脱毛や乳房切除などにより医療用補正具を購入した人

▶対象となる補正具と助成額

医療用ウィッグ1台 上限3万円

乳房補正具（片側につき） 上限2万円

☎健康福祉課 ☎65-8991



△地域医療について語る伊藤達朗院長
▷集いに参加した保健委員、食生活改善委員の皆さん



第39回葛巻町健康の集いは3月9日、くずま〜のまき×まきホールで開催され、保健委員、食生活改善推進員など約90人が参加しました。開会にあたり鈴木重男町長は「日頃から町民の健康のために活動する両委員の皆さんに感謝します。食と健康はひとつであり、おいしく食べて幸せを実感できる町を目指しましょう」とあいさつしました。引き続き、葛巻病院の伊藤達朗院長が「葛巻町の地域医療について」と題した講演会を行いました。伊藤院長は、町民に多い疾患や認知症などを解説しながら、地域医療には住民と行政、医療との対話が欠かせないことを説明。また、誰もがいつかは死ぬことに触れ「過ぎ去ったことにくよくよしたり未来のことを取り越し苦労せず、今日なすべきことを力いっぱいすること」と語り、参加者は真剣に聞き入っていました。

集いでは「つよい歯大賞」の表彰が行われ、80歳で自身の歯を20本以上有している「8020表彰」が、近藤康子さん（小田）、千葉朝雄さん（城内小路）、山口絹代さん（新町）の3人に贈られました。表彰式に出席した近藤さんは「3か月に1回は検診を受け、甘いものを控えたり歯間ブラシを使ったりしている」、千葉さんは「1日3回か4回歯をみがき、隅々までみがけるワンタフトブラシも使っている」とそれぞれ歯の健康の秘訣を話してくれました。



鈴木町長から8020表彰を授与された近藤康子さんと千葉朝雄さん

健康な歯を保ち80歳 8020表彰に3人

互いに配慮しましょう

マスクの着用について

3月13日からマスクの着用は個人の判断が基準となりました。マスクの着脱について強制的にならないよう、お互いに配慮しましょう。

なお、店舗などでは事業者の判断でマスクの着用を求める場合がありますのでご理解ください。

▶マスクの着用が望ましい場合

- ①医療機関の受診や高齢者施設などを訪問するとき
- ②混雑した電車やバスに乗車するとき
- ③重症化リスクの高い人（高齢者、基礎疾患を有する人、妊婦など）が感染拡大時に混雑した場所に行くとき

